

子育てのパートナー 「保護者」に伝えたいこと

保護者と教師は、
子どもに大きな影響を与える大人の双壁。
タッグを組みたい!



名城大学 教授 教職センター長

そやま かずひこ
曾山 和彦

群馬県桐生市出身。東京学芸大学卒業、秋田大学大学院修士課程修了、中部学院大学大学院博士課程修了。博士(社会福祉学)。東京都、秋田県の養護学校教諭、秋田県教育委員会指導主事、管理主事、名城大学准教授を経て、現職。学校心理士。ガイダンスカウンセラー。上級教育カウンセラー。学校におけるカウンセリングを考える会代表。

著書に「時々、「オニの心」が出る子どもにアプローチ 学校がするソーシャルスキルトレーニング」、「時々、「オニの心」が出る子どもにアプローチ2 気になる子に伝わる言葉の「番付表」(明治図書)、子どもに学んだ「王道」ステップ ワン・ツースリーI「教室でできる特別支援教育」II「教室でできる関係づくり」(文芸堂)、編著書に「気になる子への支援のワザ」(教育開発研究所)、「特別支援教育に生かせるカウンセリング」(ぎょうせい)ほか多数。

平成28年10月18日(火)の夜、愛知県刈谷市における「教育対話集会」の講師を務めました。私が今、最も「いいなあ」と思う講演スタイルは保護者と教師が一緒に学ぶことができるもの。それがまさに実現したのが、この「対話集会」です。

学級経営とは、「学級において教科指導、生徒指導が機能するために諸条件を整備すること」であり、その条件の一つに「保護者との関係づくり」があります。「子どもをよりよく育てたい」という思いの強さは、保護者、教師ともに差があるものではありません。時々、「オニの心」^{※1}を出す子どもに対峙する際、両者の思いが合わされば「オニに金棒」となりますが、思いがぶつかり合ってしまうえば、「ガラス棒」のように割れやすいものとなってしまいうことでしょう。子どもの「オニの心」を鎮めるのも、鎮め方を教えるのも大人の役目。子どもの周りにはさまざまな大人がいますが、なかでもかかわりが深く、影響力が強い大人は、何とんでも保護者・教師の二者が「双壁」です。私たち教師は、大人として

ての役目を果たすために、保護者と手を取り合っていくましよう。「対話集会」のアンケート結果から、「保護者の心にはこの言葉が響いたのか」「保護者は学校先生方にどのような思いがあるのか」等々、気づかされるものがあります。そのような気づきを心に留め置きながら、保護者とかわることで、私たちは日々の学級経営に向けた「心強いパートナー」を得ることもできるでしょう。以下、「対話集会」を経て、私自身が学んだことを hito*yume 読者の皆さんに「お裾分け」します。

1 講演を聴いた保護者の感想

「講演について」
● お話を聴いていくうちにどんどん引き込まれ、気づくと今までは涙が出そうになりました。「本をたくさん読んでも実践できなかったら、上の水泳と同じ」という言葉は耳が痛く、また、実感もありました。中学生の息子とどう接していけば

- いいかわからず、放任寄りのかわりになっていましたが、少しかかわりを変えてみようと思いました。
- 思わず聴き入ってしまった。アイメッセージで息子たちに語りかけようと思います。
- 褒め方や注意の仕方など、とても勉強になりました。子どもは大きくなってきたので褒め方が小さいときと同じなので成長に合わせていこうと思います。
- 時代の変化でソーシャルスキルが自然の流れの中、身につくにくいことを学びました。アイメッセージの大切さもわかりました。今回の学びを家庭だけではなく、職場の人間関係構築に活かしたいです。
- 「人が人になるには人が必要」：良い言葉を教えていただきました。「褒めて育てる」は大ウソ!? (褒めがなじまない年齢発達段階がある)。常にそう思っていました。
- 自分が娘に対して行っていることが逆に自尊心の育みを下げているような気がしました。

- どうしても肯定から入れない自分がいます。とにかく明日から名前を多く呼び、「褒める・勇気づける・認める」ことを実践していこうと思います。
- 「子どもの自尊感情を育てたい」とやっきになっていましたが、私自身の自尊感情が育ってなかつた感がありました。子育てを頑張っている自分に「OK」と今から言おうと思います。「陰褒め」も大いに使おうと思います。育てにくいと思いがちな次男に即、活用させていただきます。どの項目もすぐに活用できるので主人と共有したいと思います。とつても素敵なお話でした。
 - 「子どもへの対応が明日から変わる」と感じました。
- 〈学校先生方に対して〉
- 昔と比べ、子どもたちが考えていることがわかりづらく、先生方も大変でしょう。親として協力しながら頑張ります。
 - 最近は学校が家庭に気を遣い過ぎていて感じます。
 - 先生方が子どものことをよく

見ていてくれるのでありがたいです。

- 教育現場ではいろいろな子どもがいるので先生方も大変でしょうが頑張ってください。私たち親も頑張ります。
- 先生方が先頭をきつて、ありがとうの言葉がいつぱいの学校運営が大切だと思います。
- 熱心な先生方のご指導にいつも感謝しています。

以上の感想を踏まえ、当日の講演エッセンスをプレゼンシートと共に紹介します。

2 講演エッセンス 保護者に伝えたいこと

- 1 現代の子ども像と支援の基本方針
- 「どうせ、ボクは…」と言う子どもが増えてきている。自信がなく、自分にOKと言えない、「自尊感情」の低い子どもたち。また、「うざい」等の暴言を頻繁に口にする子どもも増えてきている。他者とうまくかかわれない「ソーシャルスキル」の低い子どもたち。

現代の子ども像と支援の基本方針

- 自分にOKと言えなければ、他者には尚更OKとは言えない。自分を大切にできなければ他者は尚更大切にできない。
→ 自尊感情(自己評価の感情)を育もう!
- 他者とかわる技術・コツがなければ他者を大切にできない
→ ソーシャルスキルを育もう!

子どもにかけられる大人の言葉が以前に比べ減ってきています

キーワードは自尊感情とソーシャルスキル
どちらもかかわりの中でしか育たない人が人になるには人が必要
大人ができることはたくさんあります!

以前に比べ、大人からかかる言葉が家庭でも地域でも減ってきているため、かわりを通して育まれる「自尊感情&ソーシャルスキル」が乏しい子どもが増えるのは当然ともいえる。「人は人の中で人になる」。だから、大人ができることはたくさんあるだろう。

2 ソーシャルスキルを育むワザ

- ▼ 全てのスキルは「2本のアンテナ、できていない時&できていない時を見逃さないアンテナ」を立てて育むことが大切。
- 例：「おはようございます」という挨拶スキル
- 「できていない時」：「あなたは挨拶しなさい」という対決ユー

「人と人の間で生きるから人間」。私たちは日常生活のさまざまな場で、人とかわり合っている。かかわり合う人同士がお互いを信頼できる「太い糸」で結ばれたならば、そこでは、どれほどの笑顔が見られ、どれほどの笑い声が聞こえるでしょうか？ 親子で、夫婦で、家族が太い糸で結ばれると、明るい笑顔

私は今、先生方の「応援者」であることに加え、子育てに悩む保護者の「応援者」になりたいという気持ちがあります。そこで、本稿にてお伝えした「言葉のかけ方」を整理し、二冊の本にまとめようと現在執筆中です。書名は、「親から子へかわりの糸を結ぶ21の言葉」。その新刊の「はじめに」の一部を以下に紹介します。

「私」がなろう。

3 親から子にかけ言葉

「言葉のかけ方」を整理し、二冊の本にまとめようと現在執筆中です。書名は、「親から子へかわりの糸を結ぶ21の言葉」。その新刊の「はじめに」の一部を以下に紹介します。

挨拶のスキルを身につけさせるには

ソーシャルスキルを育むワザ ~2本のアンテナを立てる~

■「できていない時」を見逃さないアンテナ対応

- 対決ユーメッセージ: 「ダメでしょ、挨拶しなさい」
- 対決アイメッセージ: 「残念だなあ、悲しいなあ」
- 「?の問いかけ」: 「あれ? 何て言えればいいんだっけ?」

■「できている時」を見逃さないアンテナ対応

- 肯定ユーメッセージ: 「えらいね」
- 肯定アイメッセージ: 「嬉しいなあ」
- 認めるサイン提示: 顔を見ながら、「OK!」サイン

年齢、発達段階、障害特性への留意が必要!

メッセージ、「(私は)残念だなあ」という対決アイメッセージ、「あれ? 約束は何だった?」という問いかけ。

「できていない時」: (あなたは)えらいね」という肯定ユーメッセージ、「(私は)嬉しいなあ」という肯定アイメッセージ、「OK!」という認めるサイン提示。

年齢・発達段階への留意とは

およそ10歳以前、思春期段階以前の子どもには「ユーメッセージ(ダメでしょ、えらいね等)」が効果的。「褒めて育てる」は良い言葉だが万能ではない。中学生や高校生に「ダメでしょ」と「えらいね」等のユーメッセージは反発を

招きやすい(私自身の現場体験より)。あえて強めに言うならば「褒めて育てる」のは大ウソ。年齢・発達段階によっては「アイメッセージ(残念だなあ、嬉しいなあ等)」が効果を発揮しやすいということ。

障害特性への留意とは

アイメッセージは効果的な言葉かけだが、これも万能ではない。特に、「相手の気持ちを察しにくい」自閉傾向のある子どもには効果が薄れる。視覚情報も加え、具体的な伝え方が必要となる。

3 自尊感情を育むワザ

▼家庭生活のさまざまな場面で、名前を呼びたい。笑顔で「○○」と呼びかけるだけでも「認め感」は高まる。

▼「関係づくりの第一歩は相手への関心から」。私がかつて担任した思い出の中学生。韓国語を独学でマスターした彼との関係づくりの第一歩は、私が「アンニョンハセヨ」と話しかけることからスタート!

▼「親として、子どもの「長所」「好き得意なこと」を棚卸ししておく

が絶えない家庭を築くことができるでしょう。温かな家庭の子育ては、悩みも、問題行動も、小さな芽のうちに摘み取ってしまいうことができると思うのです。人生の一瞬一瞬はかけがえない大切な時間です。育てる親にとっても、育てられる子どもにとっても、大切な時間が輝いて未来へとつながっていくような子育てをしたいものです。

W ボウエン著『もう、不満は言わない』(※)の中に、「鶏の卵は孵化するのに21日かかる。人間が新しい行動を習慣にするにもやはり21日かかる」という一節があります。ボウエンは、この考えを元に「21日間、不平不満を言わない」というチャレンジを提唱しています。が、私も氏にあやかり、「21の言葉を一日一つずつ、自分や相手にかける」ことを皆さんにお薦めします。「言葉をかける」という行動がやがて習慣となり、お互いを結ぶ「かわりの糸」が太くなっていくことでしょう。

既刊の「王道」シリーズ以上

自尊感情を育むワザ

- 名前を呼ぶ
- 子どもの「長所」や「好き・得意なこと」等を使い、褒める・勇気づける・認める

やってみましょう!
演習「子どもの長所の棚卸し」

大好きだったなあ、
「ハンゲル少年」のA君

関係づくりの第一歩は相手への関心から

「褒める勇氣づける・認める」こと
で自尊感情を育む。

褒める・勇氣づける・認める

「褒める」は「えらいね」等の肯定ユーメッセージ。「勇氣づける」は「ありがとう、嬉しい、助かった」の三語であり、肯定アイメッセージ。「認める」は、褒めも勇氣づけもせず、「○○してくれただね」等、認めた事実を伝えること。

親業&アドラー心理学

ユー&アイメッセージ(※)はT・ゴードン「親業」による言葉のかけ方。勇氣づけ(※)はA・アドラー「アドラー心理学」による言葉のかけ方。両者に共通するのは「あ

りがとう、嬉しい、助かった」であり、特に「ありがとう」は最高・最強・最幸の言葉。家庭・地域・学校・学級を「ありがとう」でいっぱいになりたい。

4 プラスα 自尊感情を育むワザ

▼特に思春期の子どもには、「おじいちゃん褒めていたよ」等の「間接評価」である「陰褒め」を使うとよい。子どもは親からの「直接評価」以上に受け止めやすいだろう。

▼子どもの自尊感情を育む前に、まずは親である自分自身の自尊感情をチェックするとよい。親として精いっぱい子育てしている自分もいるのは確かなこと。そんな自分に「OK」と言おう。「私」を

思春期の子ども&私たちが大人に...

プラスα 自尊感情を育むワザ

■陰褒めを使う

自分にOKと言えない人は、他者には尚更OKとは言えない。自分を大切にできない人は、他者は尚更大切にできない。だからこそ、自尊感情(自己評価の感情)を大切に!
子育てを頑張っている自分に「OK」と言おう!

まずは、私たち自身にOKと言うことから始めよう!
「私」を応援する「一番の応援者」に、「私」になる

※3 『親業』(T・ゴードン著、近藤千恵訳、1977、サイマル出版会)
※4 『勇氣づけて乗ける』(R・ドライカース、V・ソルツ著、早川麻百合訳、1993、一光社)

親から子へ かかわりの糸を結ぶ21の言葉

今どきの子どもとのつきあい方

「子どもと、どう接したらいいのかよくわからない」
「今の子どもが何を考えているのかが理解できない」
こんな子どもとどう接していいのか悩んでいる親御さんに、
曾山先生が、カウンセリング、心理学、特別支援教育の観点から、
考え方やノウハウを伝授。
伝えたい「21の言葉」がぎゅっと詰まった1冊。

どの家庭でも起こりうる事例をマンガで紹介。
今どきの子どもとのつきあい方を「21の言葉」を介して解決へと導きます。

正しいことを言うときは控えめに言う/言葉はスリムなほど伝わる
今、見ている景色を楽しむ/関係づくりの第一歩は相手への関心から
子どもが持っている「グローブ」に「ボール」を投げる

曾山和彦先生 出版記念講演会

講演テーマ ● 親から子へ かかわりの糸を結ぶ21の言葉

日時 ● 平成29年3月5日(日) 13:30~15:30(受付開始13:00)
会場 ● 名城大学ナゴヤドーム前キャンパスDN-301 名古屋市東区矢田南4-102-9

詳細は文溪堂ホームページで
ご案内しています。
<http://www.bunkei.co.jp/>

判型 A5判
ページ 200ページ2色刷
定価 本体1,500円+税
発行 文溪堂

平成29年3月発刊予定

※5 『もう、不満は言わない』(W・ボウエン著、高橋由紀子訳、2008、サンマーク出版)